

水稲殺虫・殺菌剤

# ラテラワイド<sup>®</sup>粉剤DL

©:クミアイ化学工業(株)登録商標

いもち病(穂いもち)



紋枯病



内穎褐変病



ウンカ類



## ＼ 出た! /

### ワイドな効き目の 殺虫殺菌剤

穂枯れ(ごま葉枯れ病菌)



コブノメイガ



稲こうじ病



イネツトムシ



変色米



カメムシ類



自然に学び自然を守る



## 特長

- ◆4つの有効成分の働きで、稲の主要病害虫をしっかり防除できます。
- ◆ビーム配合により、いもち病と穂枯れ（ごま葉枯病菌）まで防除可能です。
- ◆メプロニルが、紋枯病の病原菌侵入と病斑進展の2つに作用し、予防・治療の両効果があります。
- ◆イミノクタジン酢酸塩が、防除しにくい各種の穂枯れ性病害の発生を抑えます。
- ◆殺虫剤として定評のトレボンが、幅広い害虫に効果を発揮します。

## 適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	10アール当り 使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
稲	いもち病 ツマグロヨコバイ コブノメイガ、カメムシ類 イネツトムシ、ウンカ類	3~4kg	収穫 14日前まで	本剤:3回以内 エトフェンプロックス:3回以内 イミノクタジン:3回以内 トリシクラゾール:4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、 本田では3回以内) メプロニル:3回以内	散布※
	紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 稲こうじ病 変色米(カーブラリア菌)	4kg			

※流動性が良いので、散粉機の開度を一目盛程度しぼる。

## 上手な使い方

- ① いもち病発生に際して予防的に散布した方がより効果的です。
- ② 葉いもち病に対して発生が予想される場合、又は初発生をみたら直ちに散布してください。
- ③ 穂いもち病、穂枯れに対しては、穂ばらみ期と穂揃い期の2回散布が効果的です。

## 使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 野菜類及びなし(二十世紀、幸水、新水等)、もも、うめ等の果樹には、かからないように注意して散布してください。
- 各有効成分ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- ミツバチに対して影響がありますので、以下のことに注意してください。  
 ・巣箱及びその周辺に近づかないようにしてください。  
 ・養蜂が行なわれている地区では周辺への飛散に注意する等、危害防止に努めてください。
- 桑に付着するおそれがある地域では使用しないでください。
- 散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別してください。
- 誤食のないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐きださせ、直ちに医師の手当てを受けてください。
- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布の際には農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- かぶれやすい人は、取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物(甲殻類、冷水魚、藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用は避けてください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

## 殺菌・殺虫防除スペクトラム(効果が期待できる主要病害虫)

成分・剤名	病害虫名	いもち病	紋枯病	穂枯れ	変色米	内穎褐変病	稲こうじ病
トリシクラゾール		○		○			
イミノクタジン酢酸塩		○		○	○	○	○
メプロニル			○				
エトフェンプロックス							
ラテラワイド粉剤DL		○	○	○	○	○	○

成分・剤名	病害虫名	ウンカ類	ツマグロヨコバイ	カメムシ類	イナゴ類	コブノメイガ	フタオビコヤガ	イネツトムシ
トリシクラゾール								
イミノクタジン酢酸塩								
メプロニル								
エトフェンプロックス		○	○	○	○	○	○	○
ラテラワイド粉剤DL		○	○	○	○	○	○	○

本資料の記載内容は2012年12月現在のものです。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

0723(12-12)